

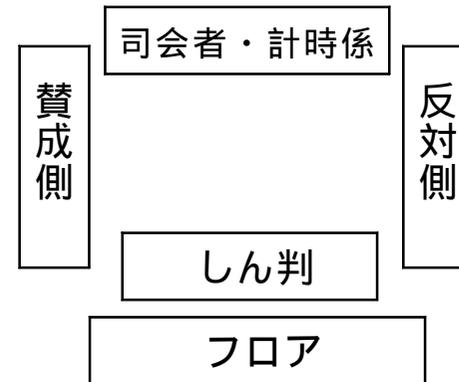
ディベートの手引き

ディベートについて知ろう。

ディベートとは

一つの論題について話し合う。
 討論者は「賛成側」「反対側」の2つの立場に分かれて行う。
 ルール（役割・人数・進行・判定基準）にしたがって行う。
 話し合いは、筋道を立てて理由や根きよを明らかにしながら進める。
 計時係が発言の時間を計り、知らせる。
 最後にしん判が判定する。

会場図（例）



ディベート進行例

開会

立論

賛成側立論

反対側立論

（作戦タイム）

質疑・応答

賛成側質問

反対側質問

反論

反対側反論

賛成側反論

（作戦タイム）

最終弁論

反対側結論

賛成側結論

判定

閉会



役割分担

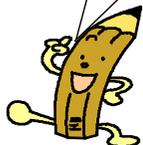
- ・ 司会者
 - ・ 計時係
 - ・ 討論者「賛成側」
 - ・ 討論者「反対側」
 - ・ しん判
 - ・ フロア
- ： （名）

「司会者」「タイムキーパー」「討論者」「しん判」以外の聞き手をフロアといいます。

判定基準（例）

- ・ 理由や根きよの内容や意見の述べ方に説得力があるか。
- ・ 資料は説得力があるか。

ディベートの進行の仕方やルールはいろいろあります。クラスに合ったやり方や判定基準を考えてやってみましょう。



年